

令和2年度 第1回愛西市総合教育会議 会議録（概要）

会議名称	令和2年度 第1回愛西市総合教育会議	
開催日時	令和3年2月19日（金）午前9時00分から午前10時55分まで	
開催場所	愛西市役所 北館2階 会議室2-1・2-2	
議長名	日永貴章	
出席者	別紙のとおり	
欠席者	0人	
公開・非公開	公開（一部非公開）	
傍聴人の数	0人	
議題	(1) 学校教育における当面の課題について (2) GIGA スクール構想の現状と今後について (3) 校舎老朽化対策について (4) その他	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料	資料番号1 学校行事の見直し・教員の働き方改革について 資料番号2 GIGA スクール構想とその運用 資料番号3 愛西市小中学校施設老朽化対策検討委員会名簿（敬称略）	
会議録の確定		
確定年月日	署名押印	
令和3年3月22日	署名者 愛西市市長 日永 貴章 愛西市教育委員会 大竹 節雄	

1. 愛西市総合教育会議設置要綱第3条に基づく出席者

役 職	氏 名	備 考
愛 西 市 長	日 永 貴 章	
愛 西 市 教 育 長	平 尾 理	
愛西市教育委員会委員	平 野 英 治	職務代理者
”	杉 方 南 衣	
”	水 谷 朋 和	
”	大 竹 節 雄	
”	難 波 知 里	

2. 出席した職員（事務局）

役 職	氏 名	備 考
愛 西 市 副 市 長	鈴 木 睦	
愛西市企画政策部長	宮 川 昌 和	
愛西市教育部長	大 鹿 剛 史	
愛西市企画政策部参事	宮 島 崇 志	
愛西市教育部次長	田 中 裕 美	
愛西市企画政策部経営企画課長	堀 田 毅	
愛西市教育部学校教育課長	猪 飼 政 和	
愛西市教育部生涯学習課長	伊 藤 静	
愛西市教育部スポーツ課長	伊 藤 義 幸	
愛西市教育部学校教育課主幹	稻 垣 潤 一	
愛西市企画政策部経営企画課	渡 邊 典 夫	
”	安 井 奨	
”	山 口 遼	
愛西市教育部学校教育課	坪 井 靖 史	
”	井 手 悠 吏 那	

会議経過

発言者	内 容 (概要)
事務局	<p>皆さん、おはようございます。本日はご多用の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻より少し早いですが、只今から「令和2年度第1回愛西市総合教育会議」を始めさせていただきます。</p> <p>当会議におきましては、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」の規定により、公開の会議となりますが、議題（1）「学校教育における当面の課題について」のうち、「いじめ不登校の現状について」は、愛西市情報公開条例第5条の規定によりまして、非公開とさせていただきますので、ご承知置きくださいますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、本日の傍聴人の方は、ございませんでした。</p> <p>本日の会議録の署名につきましては、市長及び輪番制により教育委員様をお願いをしております。今回は大竹委員となりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、市長からご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>おはようございます。令和2年度第1回愛西市総合教育会議を開催いたしましたところ、委員の皆様方には、大変お忙しい中、また、緊急事態宣言下において外出のしづらい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、常日頃より愛西市の教育行政に対しまして、ご理解ご協力、そしてご尽力を賜ってますことに対しましても、厚く御礼申し上げたいと思っております。</p> <p>御承知のとおり、愛西市総合教育会議におきましては、愛西市における教育・学術・文化の振興に係る施策等について、協議・調整を行うために設置させていただいております。</p> <p>さて、今年度は、新型コロナウイルスにより、小中学校におかれましても感染予防対策を始め、さまざまな計画の見直しなど、大変なご苦勞があったと思っております。市と教育委員会で調整をし、今年度行った新型コロナウイルス対策を挙げさせていただきますと、各学校で必要とする感染症対策に係る物品の交付について、市から補助を行わせていただきました。教室の定期的な換気対策のため設備の設置や、給食費の無償化などがございます。特に給食費の無償化につきましては、当初の予定では、6か月とさせておりましたが、今年度末までの8か月の期間において無償化を実施させていただいており、保護者への皆様方の負担を軽減することで、愛西市の未来を担う子どもたちにとっても、良い施策を実現していると思っております。</p> <p>また、GIGA スクール構想やトイレの洋式化についても国の補助金予算を効率的に活用し、計画を前倒して予算確保に努め、進めているところでございます。</p> <p>ご承知のとおり、今後ワクチン接種等、市民に対し感染症対策を予定しておりますが、引き続き、小中学校に対しても効果的な支援を行っていきたいと思</p>

	<p>っております。</p> <p>また、市民や団体の皆様からも小中学生の皆様方に対しまして御寄附なども賜っているということでございます。</p> <p>本日の議題といたしましては、学校教育における当面の課題について、ウィズコロナ、アフターコロナとよく言われておりますが、そうしたことを意識した学校行事の見直し、また教員の働き方改革、いじめ不登校の状況について、ご協議をいただきたいと思っております。また GIGA スクール構想の現状と今後について、小中学校施設の老朽化対策についても、ご協議をいただきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様方には、忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げまして、冒頭のあいさつに代えさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。事前に配布させていただいております。</p> <p>まず、本日の会議次第、資料番号1「学校行事の見直し、教員の働き方改革について」、資料番号2「GIGA スクール構想とその運用」、資料番号3「愛西市小中学校施設老朽化対策検討委員会名簿」以上でございます。不足はございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、会議を進めさせていただきますが、会議録の作成上、ご発言がある場合には、お手を挙げていただきまして、議長から指名を受けていただきます。その後、お名前をおっしゃっていただき、ご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>では、議題に入らせていただきます。議事の進行につきましては市長よろしくお願いたします。</p>
市長	<p>それでは、議事進行を務めさせていただきます。皆様方には、円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いたします。</p> <p>さっそく議題に入ります。議題（1）「学校教育における当面の課題について」を議題とし、始めに「学校行事の見直し」及び「教員の働き方改革について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1をご覧ください。学校行事の見直し、教員の働き方改革について、お話をさせていただきます。</p> <p>一つ目、新型コロナウイルス感染状況についてです。2月15日現在の感染状況につきましては、愛西市の小中学校における学校関係者で、新型コロナウイルス感染症に起因する出席停止措置を講じた数は、およそ80名となっております。学校では、文部科学省が提示しています衛生管理マニュアルに則って、毎朝の健康観察、そして手洗いなどの徹底、マスクの着用、密閉・密集・密接を防ぐ学習活動の工夫を講じているところです。</p>

二つ目、感染拡大の影響と今後の対応についてです。今後も学校の新しい生活様式に則りまして、学校行事の事前指導の時間や内容を精選し、密を防いだり、活動時間を短くしたりする、配慮を講じるなど学校行事の見直しを図っていきたいと考えております。具体的には、予防対策の徹底、卒業式や入学式の簡略化、運動会の開催時期や開催方法の工夫などが挙げられます。遠足、社会見学、修学旅行、野外活動は、地域とか社会との出会い、そして体験を大切にしながら学校行事のねらいを焦点化していこうと考えております。

三つ目、教職員の働き方改革についてです。愛西市の教職員における超過勤務の実態は、この資料のとおりです。小学校においても中学校においても1割以上の教職員が、過労死ラインと言われていた月80時間を超える時間外勤務をしているのが現状です。学習指導要領の改訂に伴いまして、教科化された道徳、外国語科や外国語活動などの教材研究、それからすべての授業における準備に加え、生徒指導、保護者対応、部活動指導、感染予防対策など業務が多岐にわたり、かつ一つ一つの業務が複雑化してきております。部活動の指導は、対外試合などを通して、仲間と調和をしたり、達成感を味わったりするうえで、とても価値の高い活動であることは言うまでもありません。しかし、高い専門性が求められる部活動に、まったく経験のない教職員が配属されることも珍しくありません。そうしますと教職員にとって精神的に大きな負担となっていることが問題になっています。また土曜日や日曜日も練習や対外試合で拘束され、教職員にとってもプライベートな時間をなかなか確保できない、そんな教職員もおります。教職員の多忙化が社会問題となったことで、教員採用試験の倍率も低下の一途をたどっております。ここ20年で教員を志す者が大きく減り、教員の質の低下が危惧されています。国は法律を改正し、時間外勤務時間の上限を月45時間、年360時間として、長期休業中などに休日のまとめ取りができるようになりました。それを受けて、県で条例が制定され、愛西市も学校管理規則を整備していくことを、ただいま検討しております。

最後に、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び教職員の働き方改革における今後の対応についてです。

一点目は、準備とか計画に膨大な時間と指導を費やします、儀式、運動会、学習発表会などの学校行事の精選です。

二点目は、各学校における現職教育の取り組み方の工夫です。具体的には、学校訪問の簡略化、GIGAスクール構想に合わせた教職員の業務の効率化などを目指していきたいと考えております。

三点目は、勤務体制の工夫です。4月のとても忙しい時期です。その時期のところの、とくに日課を見直して、児童生徒も教職員もゆとりを持って、新しい年度初めを過ごすことができるよう工夫していきたいと考えております。

四点目は、部活動時間の縮減です。朝練習や平日の部活動内容を見直すだけでなく、学校そのものの日課を工夫することで部活動時間を捻出していきたいと考えております。また体育の学習とか全校的な取り組みも推進し、体力の著しい低下を招かないようにしたいとも考えております。

以上でございます。

<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。ただいま「学校教育の見直し」と「教員の働き方改革」について、事務局より説明がありました。この二点について、委員の皆様方、何かご質問やご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは私から、事務局の説明に加えて、私ども教育委員会としまして、改めて話題に上がっていることや普段から危惧していることについて、少し学校の現状を重ねて説明させていただきたいと思います。</p> <p>まず、具体的には新型コロナウイルス感染拡大の関係で、かなり授業にゆとりがなくなったことは事実です。進捗については回復できましたが、じっくりというようなゆとりというのは確実に減っているというのは、本当に痛ましいことでもあります。特に新しい指導要領の核となっているのが、主体的で対話的で深い学び、いわゆるアクティブラーニングについて、さあやみましょうというときに新型コロナウイルスということが進めることができませんでした。アクティブラーニングというのは、グループをいくつか作って、そこで話し合いをして、そしてまとめ上げて、代表者がプレゼンテーションをして、それをいくつかのグループが聞き、評価して、そして自分たちのグループの中へ差し戻して再検討するというような動きであります。これが本当に制約されました。これは先生たちの意欲をそぐというような状況でなかったかなと思っておりました。</p> <p>授業が一番なのですが、学校行事につきましても、例えば入学式や卒業式、これは今まで愛西市は、来賓の方や市長さんや教育委員さんの方で告辞や式辞をしていましたが、これもやはり無しということを余儀なくされています。今後は働き方改革も含めて、保護者の儀式参加につきましても、制限をしている関係上、来賓や教育委員会の方も参加の仕方を考えていかなければならないということで、今後も働き方改革を視野に入れて、これからも続けていきたいと思っております。この件につきましても、来賓の方には教育委員会からご案内させていただく予定であります。今年、修学旅行をはじめとする校外活動、これが俗っぽい言い方をすると行き当たりばったりといいますか、当初より大幅に変わりました。日程や行先なども違ってきました。従って、場当たりのことが否めなかったのは事実であります。このようなことにつきましては、来年度、どのような形に環境が変わるかわかりませんが、どんなことにも対応できるように目的意識を持って臨まなければならないと思っております。</p> <p>働き方改革につきましても、一番は、世の中で噂になるのは、部活の影響が非常に大きいのではないかと思っております。部活は、学校の先生が必ずしもやらなくてはならないものではありませんが、やっぱり立派な教育活動と位置づけられているわけなのですが、そちらの方もメリット、デメリットをしっかりと見極めながら進めていかなければなりません。やはり保護者からの要望も強いものがございますので、これに代わるものを、受け皿的なものを愛西市としても考えていかなければならないと思っております。</p>

	<p>このようなことを思っておりますので、多方面からのサポートをよろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>私からは、以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。ただいま教育長から現状と学校の状況等を補足していただきました。他に何か、ご質問ご意見がありましたらどうぞ。</p>
委員	<p>働き方改革について、少し意見を述べさせていただきます。先生方の超多忙化ということで、超過勤務の時間を見るとよくわかります。仕事量は、やはり年々、増えているのではないかなと思っております。特に今日の議題になっています GIGA スクール等々についても、新たな仕事が増えていると思います。そんな中で、先生方が本当に仕事としてやる仕事か、そうでないか、誰かに依頼してやっていただけないか、といった仕事の選択の必要があるのではないかなと思います。特に教育長が言われました部活動について、朝練とか午後練、休日の練習、長期休業の大会等々で先生方の多くの時間が強制的に取られるといった中で、リフレッシュもできないとおっしゃっておられます。そういった中で、何とか地域の方の力を得て、地域の指導者的な人を見つけて、そういった援助ができないかなと思っております。特に市のスポーツ関係、スポーツ協会、各種団体がありますので、その中で指導的な立場な人を抜擢して、そういったことができないかなと思っております。</p> <p>もう一点ですが、児童の体力の低下ということで、これが非常に問題ではないかなと思っております。コロナ禍で外出を控えるということで、何とか体力を上げる方法というか、対策をとっていただくとありがたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。他にいかがですか。</p>
委員	<p>教育長のお話にありました、修学旅行や学校の外での体験行事について、少し思うことがありまして、今年は特別な修学旅行であり、課外、キャンプとかは中止が多かったと聞いておりますので、子どもたちは、今年大切な1年の中で経験できたであろうことが、ほとんど省略をされてしまって、そこは先生の工夫で泊を伴わない修学旅行などができましたので、違う体験ができて、また思い出にもなったとは思いますが、子どもたちが学校の中だけの勉強だけではなく、校外での学習による実体験というのは、これから成長をしていく糧になると思いますので、今後、このコロナ禍をマイナスと考えずにプラスにしていける方として、修学旅行ですけれども、もうちょっと目的をフォーカスして企画していくことで、愛西市として特色ある修学旅行というような形で組み込んでいけるのではないかなと思います。</p> <p>働き方改革をしなくてはいけない先生方に、それをお願いするのは本末転倒になってくるのかもしれないのですが、この際ですので、修学旅行といえば、中学生は東京にということで、やはり観光気分が少しあつたりするのですが、</p>

	<p>もう今の時代、各家庭で観光として、あちらこちらに行くのは前提として考えることであれば、家族であまり行かないような、家族として話題として上がってこないようなことを中学生として体験できるような、そのような体験をぜひ愛西市の中学生は体験できるという、それはまた中学生は中学生で、小学生においてもそのようなことをプラスアルファして企画できるような、そのようなふうになっていくことで、今後の子どもたちが、社会に目を向ける第一歩と言えますか、そういうところの視点が働いていくのではないかなと思います。そのスタートは学校教育課になるかもしれないですけども、その点をぜひお願いして、今後のコロナ禍のマイナスが少しでもプラスに働いたという点を残していけるようにしていただけるとありがたいなと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>他には。どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>先程、教育長さんの方から話がありました、学校行事の観点として、コロナの対応、これが落ち着くまでの対応とその後のこと、それから新学習指導要領に対する対応、教職員の働き方改革、この点で見直しがされていくと思うのですが、学校行事を楽しみにして日々の学校生活を送っている子どもたちも大変多いと思います。それに加えて、学校行事が日ごろの学習成果、児童生徒の生き生きとした姿を保護者や地域に発信していくそういう貴重な場になっていることを考えて見直しをしていく必要があると思います。</p> <p>新学習指導要領の体験で学ぶ学習を大事にということを言われているわけですが、この学校行事の見直しについて、教育委員会の中の話し合いで、本物との出会いや直接体験が極めて重要という、そういう考えで学校に見直しをお願いしているという状況を聞いております。</p> <p>先程の修学旅行について話がありましたが、愛西市で育ち学ぶ中学生、愛西市の未来を担う中学生にとって魅力ある学校行事を作り出すことができたらいいなという思いを持っております。当然そういった行事を作るにあたっては、教育委員会のリーダーシップのもと、各中学校と念入りに検討して進めていく必要があると思っております。学校行事の見直しが行われる中で、どちらかという、小さく小さくとそういう流れがあると思うのですが、中学生に夢を与えることのできる取り組みであり、愛西市の特色となる取り組みを是非、市の方から多方面にわたるご支援がいただけたらと願っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました、他には。</p>
<p>教育長</p>	<p>その件に絞って、先程、話が出ていましたように、画像や情報でいろんな疑似体験をする。それが本物の体験と言えるのかということ、きっと、このタブレット、一人一台端末が、流用されていく時代に、本物のもっている迫力とかが叫ばれてくる。実際に本物を見ると学習意欲が喚起されることは現実的に起こりうることであります。ぜひ、バーチャルの世界をとおして学ぶの</p>

	<p>も大切ですが、例えば人間として道徳的なことや、平和的なことや、或いは福祉の関係や、そういったようなことを本物との出会いが求められてくるようになると、私は、ゆくゆくはそういうようになると思いますので、子どもたちが教育に関心が持てるように、そして、学力というより、将来、生きていくときに、核になれるような、そういうものを持って卒業させてやりたいと、こんなことを教育委員さんと話をさせていただいて、この場で一度検討をとということをお願いを、話題に上げたいということでもありますので、よろしくお願ひします。</p>
市長	<p>ありがとうございました。他に発言されていない委員さん。</p>
委員	<p>働き方改革の超過勤務の実態という、そこに絞って聞いておきたいことを話させていただきます。どうしても部活動がという説明が一番先に来るとはありますが、小学校と中学校を比べて、過労死の一つの目安となる80時間以上というところで数字が出ているわけですが、小学校でいえば80時間、100時間を超えるというところが、5人に1人くらい、中学校で4人に1人くらいというような発生率になっていて、ただ部活動という一つだけでは説明がつかないところがあります。愛西市の小中学校の生徒数、児童数の、学校間の格差と言いますか、差の大きさというのは、おそらく海部地区の中でも大きい差のある学校が存在している市だと思っています。クラス数が少なければ、当然先生の数も少ない、先生の数が少ない小規模校と1学年に4クラス、5クラスあるような大規模と言えるのか、中規模といいますか、そういった学校の先生の数でこなしていく仕事、子どもが増えればそれだけ生徒児童への指導や保護者の対応が少なからず増えてきますけれども、やりくりの点、或いは学校一つというものを管理していくうえで、人数が絶対的に少ないということが、労働時間に影響してくるのか、それともう一つ、これは6月の調査で、コロナ対策が押し寄せてきた、慣れない頃の調査ですけれども、それから半年以上経った今、現状だと数字はどういう方向に向いているのか、そこら辺を聞いておきたいと思ひます。</p>
市長	<p>ただ今、委員から2点、ご質問があったのですが、わかる範囲で事務局、学校の規模の関係の先生方の超過勤務の実態と、6月と近々の状況が分かればお願ひします。</p>
事務局	<p>まず数字的なものですが、今現在、かなり少なくなってきました。小学校におきましても、中学校におきましても、何パーセントかは申し上げられませんが、数字はぐっと少なくなっています。もう1点のところですが、小学校でいきますと、単学級の学校が愛西市の場合、いくつかあります。小学校は、部活動はほとんど、陸上とか、金管クラブがとかありますが、やはり授業が一番だと思うのです。そうすると単学級で、教科が何教科もあるところで教材研究をしていく、例えばそれが二学級、または学年に三学級あれば、学</p>

	<p>習プリント一つにしても、私が国語のプリントの教材をしっかり作る、次、算数の方は私が作ると分担ができますが、単学級の場合には、それを一人でやらなければならない。先生方は、やろうと思うとやり切ってしまう方がとても多いので、そうすると単学級においては、超過勤務の実態のところの数値が多いところが多いです。地域によっては、子どもたちの生徒指導が少し多いような中学校もありますので、そういったところには生徒指導、子どもたちの生徒指導に関しては、保護者対応もその後、続きますので、地域によって、または、学年の人数が多いところによっては、生徒指導とか、保護者対応も複雑化になってきたり、件数も多くなったりしますので、その関係で時間外勤務も多くなっているのが現状です。以上でございます。</p>
市長	<p>ありがとうございました。委員さん、よろしいですか。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
市長	<p>委員さんどうぞ。</p>
委員	<p>個人的ではありますが、先日、コロナ禍で、中三の息子が、まさにこの一年いろいろと修学旅行を含め残念な思いをしたり、中には先生方のご苦勞のおかげで、宿泊を伴わない修学旅行になりましたが、帰ってきた子どもは楽しかったの一言でありました。長い日数をかけていく修学旅行がよしではなくて、やはり内容により、今年に関しては先生方が二転三転の中で、急にそれぞれお考えになった結果、子どもたちが楽しめたという結果がついてきたことには間違いはないですが、リアルに体験できるであるとか、本物に触れ合うとかを踏まえて、短い期間であっても、子どもたちが、行けてよかったなと思える体験を、先ほどお話がありましたが、コロナをマイナスに捉えずにプラスになる学校行事として、子どもたちが充実した思い出を残せるような学校行事を精選していただきたいと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございました。いろいろ委員の皆様方からご意見が出ましたが、事務局として、全体を通して何かあれば。</p>
事務局	<p>今、いろいろご意見をいただきまして、各委員さんから共通して思いが伝わってきました。例月の教育委員会でも話題になっていますが、どうしてもコロナのことが最優先になってきているのですが、現状、コロナが落ちついた先を見据えて、学校行事の見直し、縮小ばかりではなくて、愛西市として特色のある活動についても、今後、その視点で検討していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>副市長、いいですか。</p>

副市長	<p>皆さんの意見をお聞きして、少し話をしたいと思います。</p> <p>まず学校の働き方改革ということで、多分、いろんな積み上げ方式、学校というのは過去の伝統に基づいて積み上げ方式で、仕事が増えてくるのが、現状であると思うのですけれども、私は、学校の経験はありませんが、行政も同じであると思うのですけれども、今までのものは、今までのもの、新しい事業は新しい事業、そこに積み上げ方式で、ずっときているのですが、行政は、市長、副市長が変われば考え方が変わってくると思うのです。学校というのは教育方針がございまして、そこの中でなかなか変えることが難しいかなと思いますので、そこは一度、働き方改革もそうなのですが、子どもの立場に立ったものの考え方等を含めて、行事の見直しをしていただいて、先程、委員の皆様から出ました特色ある愛西市の教育ということを考えれば、一度、愛西市全体で、教育委員会を始め、プロジェクトを作って、何が特色、愛西市にふさわしいかをもう一度考えていただいて、そこに新たな予算をつけたり、そういうことも考えるとかをして、今まで通りではなくて、新たな教育、特色を出したいというご意見もたくさん出ましたので、考える余地はあると思います。特色ある愛西市の教育を出していただくのは、私は賛成でございますので、しっかり議論していただいて、スクラップする部分はスクラップして、ビルドで立ち上げるものは立ち上げる。今まで通りではなくて新しい教育を目指すというのは、これからの教育は大事であると認識しておりますので、小さいときからの体験、一年生はこういうこと、二年生はこういうこと、中学校一年生、二年生、三年生はこういうことをやる、そういうことを教育委員会、学校サイドとして愛西市の小中学校は、18 ありますけれど、そこの中で議論して、作り上げていくことが大事かなと思います。以上でございます。</p>
市長	<p>ありがとうございました。最後に、私から。</p> <p>まず、教員の働き方改革の件ですが、先生方の異動は、海部管内で異動されますので、愛西市外の他校から愛西市の学校に赴任した場合、どのような申し送りでなされるのか、危惧しております。先生方、一人一人が自覚を持って、メリハリをつけた働きをしていただきたいと思います。先ほども出ておりましたがやらなければならないことをしっかりと、また、児童生徒のためにどのような働き方をしたらいいのかということ、しっかりと考えて行っていただきたいと思います。部活のことがクローズアップされており、教育長からか、誰かからか、保護者の方が期待されるという話もありましたけれども、地域の方々も協力していただければなりません、地域の中には保護者も入られるわけですので、保護者の方々にも理解いただいて、例えば、試合に出れば、選手選定に、非常に苦勞されるともお聞きしておりますので、そういったことを少しでも軽減していただかないと、地域の方は、責任を持って部活動を指導しようとする方はなかなか出づらと思います。スポーツ協会等とも連携して、スポーツ協会は、自分の団体を持っている方ばかりですので、それ以外にやっていただこうと思えば、調整をしっかりとやっていただかなければならないと思っています。またスポーツクラブもありますので、意見交換して、協力を仰い</p>

	<p>で理解をしていただくようにしていただきたいと思います。</p> <p>学校行事の件ですが、去年の今頃であれば、コロナが収束したら普通の今まで通りの生活に戻るのではないかと、期待をしていたと思いますが、現状としては、コロナ感染が収まっても、今のような生活スタイルが続いて、これが普通の生活になるのではないかとということも言われておりますので、そういったことを視野に入れながら、今後、学校運営をどのように行っていくかということ視点を考えていただかなければならないではないかと思っております。こういった生活の中の、マイナスに考えるのではなく、プラスで考えることも必要ですので、しっかりと検討していただきたいと思っております。学校行事については、先の教員の働き方ともリンクをしてくると思っておりますので、そういった視点も入れ、教育サイドでない市長部局が行っている学校での行事もありますので、そういったところと意見交換して、議論の時から市長部局の担当も巻き込んで議論をしていただきたい。教育部局で先に議論を進めて決まったことを市長部局へ伝えても、それでは意図は伝わらないと思っておりますので、教育委員会サイドは、ハードルが高い部局だと思っておりますので、しっかりと情報共有をしていただきたいと思っております。</p> <p>校外学習、いろいろ議論が出ました。今後の子どもたちの社会的成長を見据えた校外学習を積極的に行っていただきたいと思っておりますので、今まで行ってきた修学旅行や自然学習、平和教育等についても、コロナの状況もありますので、改めてしっかり調査・研究をして、他市に勝るような、経験ができる学校運営をしていただきたいと思っておりますので、調査・研究に着手をしていただきたいと思っております。早ければ、コロナが落ち着いて、いろいろな活動ができる年度に入ったら、すぐに実行ができる体制まで持って行っていただきたいと思っておりますし、事務局の経営企画課サイドもそういったつもりで協力していただくようお願いをしたいと思います。</p> <p>これからの議題でもありますが、難しい問題はなかなか前に議論を進めていただけないと思っておりますので、早く協議を始めていただきたいと思っております。よろしくお願いをします。以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>よろしいですか、皆さん。ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上二点については、以上とさせていただきます。</p> <p>つづきまして、「いじめ・不登校の状況」を議題といたします。資料の配布をお願いします。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>・・・「いじめ・不登校の状況」について状況説明及び意見交換・・・</p> <p>それでは、いじめ・不登校の件は、以上とさせていただきます。続きまして（２）GIGA スクール構想の現状と今後についてを議題とし、事務局より説明をお願い致します。</p>

事務局	<p>GIGA スクール資料 2 の方にまとめたものをお配りさせていただいておりますが、現在の愛西市の状況について簡単に説明させていただきたいと思っております。新型コロナの関係で、オンライン家庭学習等も視野に入っていたこともあり、国の施策が拡充されたことから、今年度、元々、当初予想しておりました整備を拡大することができました。小中学生全児童・生徒数の学習端末の整備等にもこぎつけることができております。全数揃ってくるということで、4月からの運用開始に向けて、現在、教員によるプロジェクトチームを立ち上げた上で、市内の各学校間で差が生まれるようなことのないように、準備等を順次、進めて参っております。</p> <p>4月以降の具体的な取組内容としましては、デジタル教科書の導入や学習端末での学習教材、Web教材等の活用が考えられてはおりますが、まず、デジタル教科書につきましては、市単独での導入については財政面での負担がかなり大きなものとなりますので、今後の国の動向に期待したいと考えてはおりますが、それに先駆けまして、来年度につきましては、佐屋小学校と佐織西中学校で試験的にデジタル教科書の導入が予定されております。そういったところの活用を進めていきたいと思っております。</p> <p>あと、ドリル教材につきましては、全校で導入を予定しておりますので、そちらについては、積極的な活用の方を進めていきたいと思っております。</p> <p>また、今回、全児童・生徒数への学習端末の配備ということで、その活用に向けて、教員の中でもかなり不安な部分もあると思っております。ICT支援員等の配置等で、できる限り解消も図りながら、先程申し上げたプロジェクトチームで、色々と創意工夫をしながら活用を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。簡単ですが、以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。只今、事務局より今年の4月からの本格運用に向けて現在準備を進めているという説明がございました。委員の皆様方、何かご意見等があれば、ご発言をお願い致します。</p> <p>せっかく導入をするので、コンピュータ教室みたいなことにならないように願うばかりでございます。ランニングコストがかなりかかる予定ですので、しっかり肝に銘じていただきたいと思います。学校の先生方、不安は良いですが、全て支援員に任せていただいても、学校の先生がやる気にならないと、なかなか進まないと思っておりますので、やる気を出していただきたいと思います。</p>
教育長	<p>タブレット端末が1人1台に配置されるということを受けて、既に複数回、研修を行っております。所謂、オンライン授業を視野に入れたリモート会議も、つい先日、市内全18校が参加して行っております。今まで配置してもらっていたプロジェクターも教室に設置していただいているのですが、活用の頻度が高いです。ただし、これは先生たちのパソコンからプロジェクターに映すことが主でありますけれども、今回1人1台タブレットということで、どのように進めていくのか、どのような効果があるのかなど、そういった研修計画や進め方について、特命のプロジェクトチームを立ち上げて、既に活動を展開してい</p>

	<p>るということでもあります。ただ、市長が心配していただいているように、不安は否めないと思います。苦手な先生が、小さな一歩でも全部で一歩を進もうというようなことからスタートして、これも研修漬けにしてしまうと、却ってアレルギー反応が生じることも現実にはあるわけです。これをうまく働き方改革とリンクしてもできるわけですので、プロジェクトチームの活躍を期待していると同時に、我々もバックアップしていきたいと思っております。</p>
市長	<p>ありがとうございました。委員の皆様方、何かあればどうぞ。</p>
委員	<p>市長がおっしゃいましたように、ものすごく多くの予算がかかってくると思いますが、重要なことですので、世界的にも遅れているという日本の IT・ICT 教育を、ぜひ継続していただけることをお願いしたいということと、せっかく導入されるので、コロナ禍でオンラインの授業やリモートでの会議がものすごくクローズアップされてまいりましたので、ゆくゆくは不登校のお子様が、例えば「すまいる」で、オンライン授業が受けられることにもつながっていきまじ、学校に出かけていないので学校の細かい様子もわからないということで、例えば、授業しているところの配信を限定的にでも使っていただけてもいいのではないかと思っております。</p> <p>個人的なことですが、コロナ禍で自分の仕事が狭まった時に、オンラインで学習指導をする体験をいたしました。最初はハードルが高いと思ったのですが、乗り越えてしまうと割と使いこなしていけるものではないかと思っております。例えば、学校の現場で、今後タブレットを自宅に持って帰るという時代がやってくる時に、Wi-Fi の環境が整っている家庭であれば、学校の先生との年に何回かの懇談もタブレットを使ってしていくと、時間の効率的な使い方だとか、10 分、15 分のために、お母さまが学校に来るといった部分の効率化も図れますので、ご家庭でも歓迎していただける時代がやってくるのではないかと思います。本当に良いところばかりを言っていると、段々とデメリットが見えてこなくなるのですが、これから使うものは機械ですので、故障等にそこに対してもこれから多くの予算がこれからかかってくると思っております。そこはぜひ、愛西市としても、これからもフォローアップを続けていただけるとありがたいので、よろしくお願い致します。</p>
市長	<p>他にご意見はありますか。</p>
委員	<p>まずは、この GIGA スクールの環境を整えていただいたことに感謝をしています。</p> <p>先程、市長が仰いましたが、かつてのコンピュータ教室がどこまで利用できたとか、それもやはり今の教職員の勤務状況の中で、どう準備するかというのが、本当に大きな問題がありまして、働き方改革を進める中で GIGA スクール構想を進めるのが、なかなか矛盾のある動きであるという思いを強く持っております。今日、資料もいただきましたが、言葉が分からないもので、そこに</p>

	<p>向き合っ一つ一つ調べて理解しているという状況なのですが、一番心配するのは、これが使われていくといいのですが、学校は、まさに個人情報が多くあるところですので、情報の管理を常に意識して取り組まないと、ボタン一つで情報が全て出てしまうことになるものですから、その辺りが教職員だけの管理でできるのか、専門的な方の助言がないと厳しい部分がありますので、そういったこともぜひお願いしたいと思っております。</p>
市長	<p>今の件について、何か検討しているものがあればお願いします。</p>
事務局	<p>基本的には、今回の GIGA スクールの学習端末の環境と一般的な校務支援のシステムの環境は別で動いていますので、心配されるような成績等の個人情報が外に出るような環境にはならないです。</p>
委員	<p>教員のパスワードが何らかの形で漏れて、児童のパソコンから見ることでできてしまうということはないですか。</p>
事務局	<p>校務支援の関係は、学校の事務関係のものが流出することはないと思いますが、ただ、実際に児童・生徒とのやり取りの関係で、少しセキュリティ上、気を付けないといけないところはあると思うので、そこについては教育も含めて検討していくことになると思います。ただ、心配されるような、漏れてはいけない情報が流出していくようなことはないと思っております。</p>
市長	<p>その他よろしいですか。副市長よろしいですか。</p>
副市長	<p>それでは私の方から少し。 先程のいじめの関係もございますけれども、GIGA スクールは市が全面的にバックアップするのは、やぶさかではないと思っておりますし、やらなければならないと思っておりますけれども、少し心配するのは、こういうことをやることによって不登校が増えるのではないかとということもございますし、GIGA の端末の取扱いの以前の問題で、教育の中身をまずきちっとしないといけないと思っております。GIGA スクールも大事ですが、その前提となる教育が大事だと思います。そこを押さえないと変な使い方になるかと思っておりますし、もう一つは、学校の先生が子どもの顔色を窺わずに、パソコンの顔色ばかり窺っていると、これまた本末転倒になりますので、その辺をしっかりとした教育理念だとか、学校のルールを確立していただかないと、変な方向に行く心配が少しありますので、学校の中の教育をしっかりといただくということをお願いしたいと思っております。</p>
市長	<p>ありがとうございました。 私はとにかく使ってほしいと思っております。どんどん試験的でもいいので、生徒さんに持ち帰って、復習でも使えるのではないかと、学校の授業の補足ができる</p>

	<p>のではないかと、今後、教科書を持ち帰らなくても見たいときはこれが使えるのではないかと希望をしていますし、行政運営もデジタル化がどんどん進んでいきますので、そういう時に経験している子どもたちや保護者が理解を示していただくと、生活も、より便利になると思います。負の部分は当然あると思いますが、負の部分ばかりクローズアップされるとこういった事業は進まないですし、負の部分のことを言って事業を全く進めていただけないという傾向があります。GIGA スクールは、膨大な皆様の税金が投下されておりますので、しっかりと肝に銘じてやってください。学校の先生もよろしくお願いします。この件は以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして（３）校舎老朽化対策についてを議題とし、事務局より説明をお願い致します。</p>
事務局	<p>校舎等の老朽化対策につきましては、本来であれば、既に何回も委員会を開催して、ある程度修繕状況の報告ができるようになったのですが、新型コロナの影響もあり、なかなか委員会の開催にこぎつけられなかった現状があります。そこについては反省をしないといけないなと思います。</p> <p>また、当初予定しておりました委員会の委員の構成につきましても、このコロナ禍の中、学校等の視察等も視野に入れた中で、少し委員の構成も縮小させていただいて、なんとか第一回目について、今年の１月１９日の火曜日に、開催にこぎつけることができました。その一回目の委員会の中では、やはり、話題に上がっております学校利用の適正化についても少し触れられる部分はありましたが、まず、この委員会については、校舎等の施設に対する検討をお願いするというようなものについての趣旨をご理解いただいた上で、今後、様々なご意見をいただきますというような話をさせていただいております。</p> <p>今後引き続き、第二回目につきましては、２月２６日の金曜日を予定しておりますし、今後、各学校についても実際に出向いて、委員会の方を開催して、内容・状況等の確認をしつつ、継続的に委員会を開催して、委員会の目的となっております各学校施設等についての今後の方向性について提言をまとめていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>ありがとうございました。今事務局から説明があった件について、何か委員の皆様方、ご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>愛西市ができる時に、市域の形がという話がありまして、津島市を取り囲むような形でというようなことが新聞記事に載っていたことを思い出しますが、今学校の配置を愛西市の地図の中に落としてみますと、やはり旧町村の枠の中での学校配置となっており、愛西市としての学校の配置の理想の姿とは必ずしも一致していないと思っております。</p> <p>また、人口の分布だとか地理的条件を考えると、前に市長のセリフの中で、津島市の人口が６万人程度、愛西市の人口も６万人程度ですが、津島市は１２の小中学校、愛西市は１８の小中学校で、その当時は福原分校もありましたが、</p>

その違いはというと、やはり面積もあり、地理的な状況もありというようなことが根底にあると思っております。

特に立田地区は、老朽化の面もそうですし、地理的なことでも、子どもたちは苦勞して登下校しておりますし、最近では、それが見るに見かねて我慢できないという親御さんは、悪天候の時、かなり送迎の車で学校へ出入りしております。昔なら雨が降っても風が吹いてもみんな我慢しながら歩いていくのが普通でしたが、今では母親や家族が我慢できないということで送迎するという時代の流れも感じております。

福原分校が廃校になって、その代替として、スクールバスを運行させての立田南部小学校への通学ということで、住民や保護者の方々からは、要望もかなりあり、反対に近いような意見もあったのですが、実際に動き出してみれば、全員の方が乗っていただいて、全部が全部、通学の行程を全てバスでということではなくて、途中で降りてもらって、普通の子どもたちと同じだけ 1.5km 程度は歩いてもらうというような変則型のスクールバスですけれども、そういった運行が、保護者の理解もあって根付いているということをお考えすると、愛西市の場合はこれからの時代、スクールバスをうまく活用した学校の配置ということが、目の前まで来ていると思っております。

老朽化の対策ということですが、例えば、洋式トイレの整備、或いは単数の学級ですと、学年の中でのやり繰りが難しい、効率化がなかなか図れないというような部分もありますし、いじめの面をとってみても、複数のクラスがあれば、一つの対応の策として、クラス替えということが有効になる場面もあるかもしれませんし、何かと固定してしまう学年 1 クラスという学校は、何かにつけて難しい部分があるのかなと思っております。

古い部分の取り壊しと残す部分の再整備ということで、佐織支所、立田支所が整備されておりますけれども、その際に、トイレの方もきちんと整備されておりましたが、そのことと学校の整備が進まないということをお考えすると、学校の整備が遅れているのは、大人側の怠慢と思われても仕方ない部分かもしれません。

愛西市においては、エアコンの整備、或いは先程の GIGA スクールについては、海部地区でも早い方ですし、GIGA スクールの予算化についても愛知県下でトップクラスの速さで対応していただいているところです。また、給食の無償化なども含めて、本当に子どもたちには手厚い施策を打っていただいているのですが、適正化の方で少しつまずいてから、学校の整備という部分については、なかなか手が付けられていないところです。

教育委員会の私たちの方だけでは進められない部分でもありますので、衛生環境の整備など、また、ひよっとしたら学校給食という仕事が教育委員会から外部に委託している部分が大きくなって、教育委員会からだいぶ縁が薄くなりましたが、学校給食の供給体制も含めて考えていかななくてはならないと思っております。考えられる人というのは、それなりの知識を有している人ではないとできないことだと思いますが、本当に大きなテーマで、校舎の耐用年数である 40, 50 年を見据えての整備になると思います。やりかけたところから終わるまで、愛

	<p>西市内全部を考えれば、20,30年かかる仕事になってきますので、立田地区のように昭和30年代の建物が残っているところは、できるだけ早く、どのような形が良いのかはわかりませんが、取り組みの速さというものを求めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>他にご意見があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>検討委員会を立ち上げていただいて、より安全・安心な学校環境、新しい時代の教育に対応できる環境づくりを目指した取り組みをしていただけることに感謝をしております。</p> <p>前回のこの会議で指摘のあったことなのですが、今、懸案されている学校の適正化の問題、校舎の老朽化の問題を別個ではなく総合的にというような意見があったかと思っております。加えまして、先週も大きな地震がありましたが、今回、資料の中に指定緊急避難場所等の一覧も付け加えていただいておりますが、そうした防災上の対策などを考えたまちづくりの問題も加えて考えていく必要があると思っております。</p> <p>特に今回、企画政策部からも検討委員会の方に参加いただいているものから、そういう面で総合的に捉えて方向性を出していけるといいのかなと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。その他よろしいですか。今のご意見について事務局から何かあればどうぞ。</p>
<p>事務局</p>	<p>元々、老朽化対策の委員会にはなっておりますけれども、ハードのものだけではなく児童・生徒数であったり、本当に必要な機能が何かであったりとかというところも確認しながら、後、先程申しました児童・生徒の数も加味してくると学校の規模や大きさ的なものも視野に入ってくるものですから、今後もしかすると、学校がどういった形になってくるかという意見もこの委員会の中では出てくるかと思っております。そういったところも期待しながら委員会を進めていきたいと思っておりますので、お願いいたします。</p>
<p>副市長</p>	<p>少しお尋ねしたいのですが、設置要綱の中の所掌事務で、老朽化に関する基本的な考え方及び対策に向けた具体的な方策について検討するという記載があるのですが、これは、委員が言われたまちづくりも含めて、適正化も含めて検討するということですか。それとも優先順位だけを決めるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員会の目的としましては、まずハードの対応についてを主として考えます。提言としましては、その個別の学校がどうだということで一度ここはまとめる形になると思っておりますが、ただ色々な意見が出ましたというところは、まとめていきたいとは思っております。</p>

<p>市長</p>	<p>適正規模の議論の時もそうですけれども、手順を踏んだにもかかわらず、最後の教育委員さんから方針を出されてから、色々なご意見をいただいたというような現状があり、今回の老朽化対策事業についても、今後どのような段階でどのような意見が出てくるのかをしっかりと見極めながら議論をしていただかないと、同じような状況に陥る可能性が高いと思います。</p> <p>先程も意見が出ましたけれども、やはり最終的には学校に通われる児童・生徒さん、それに係る保護者の皆様方のことを一番に考えた教育環境として、どのような学校が良いのかということが、求められていることで、その次に地域とのつながりや防災・まちづくりということになってくると思っております。</p> <p>先にまちづくりや防災のことを考えてしまうと、若干学校の造りとしては違う状況になると思っておりますし、この検討委員会で、例えば建て替えをした方が良いという結論になれば、今後の児童・生徒の推移を見通した学校の造りになってしまいます。そうすると、小規模より少ないところは、コンパクトな学校になり、防災拠点としての機能を果たそうとすると、それはどうすれば良いのかということも、しっかりと理解した上で進めなければなりませんし、ただ単に、ここは建て替えた方が良いとか、ここは動かした方が良い、だけで終わっていただくと、次のステップは非常にハードルが高くなるので、しっかりと建て替えるなら、今の学校として建て替えた方が良いのか、防災のことやまちづくりのことも考えると、どうしたら良いのかということも、意見集約もしっかりとしていただかないといけないかと思っております。意見集約が一番難しいと思っております。委員の皆様方よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>適正規模の住民説明会のところで今終わっている現状、そして、老朽化の検討委員会が立ち上がって、また協議が始まっていった答えが出てというようなことになっておるわけですけれども、立田地区の住民の中には、静かな期待というのか、立田地区での住民説明会への出席者というのは、本当に皆様が驚くほど少ないです。少ないということはどういうことかということ、沈黙の賛成というわけではないですけれども、だいたい任せておいて間違いないでしょうという期待と、過去の経験値から、そういう人間性もあって、そのような結果になっているのだと私は判断をしております。</p> <p>私が一番危惧するのは、老朽化の検討委員会がまた適正規模の議論と同じ道を歩むことですが、色々な積み上げをして、予算も大切ですが、なかなかそういったことの難しい案件ですので、そういった時にどうするのかという話ですが、強い気持ち、決意といいますか、革新といいますか、根拠は何もないですが、私も長いこと生きてきましたので、色々な経験をするわけですけれども、卵が先か鶏が先か、きちんとやっていくのなら卵だと思うのですが、逆にやれることを先にやってしまう、やれることをまずやって、後付けて対策を一生懸命考えるというやり方も世の中にはあるのだという経験も、今までの自分の役職の中で、経歴の中で体験してきました。</p> <p>本当の理想の表向き、きちんとした形の進め方で進まないといけないと思っております。そういう想定みたいなものも考えていかないと同じ道を歩くようなこと</p>

<p>市長</p>	<p> になつては、立田地区民としては、本当に待ちきれないというか、歯がゆい思いをまたするようなことになりかねません。 とにかく私が思うのは、子どもがそこそこの摩擦の中で、そこそこの体験をしながら、「愛西市の子はこういう時に強い、役に立つ」と言ってもらえるように、きちんとした形で社会に役立ってくれることを祈っております。そういう体験ができるように学校ができればいいと思っております。 </p> <p> 今、委員さんが立田地区のことを言われましたが、この状況を見ていると立田地区の学校だけが、老朽化が進んでいるというわけではないので、結論としては、何校建て替えが必要だという結論になるかもわかりませんので、そういった場合には、当然、その学校立地について、次どのような対応をしていくか、皆さんで議論していく必要も出てきますので、皆様方には色々と悩まれるところもあると思います。 </p>
<p>教育長</p>	<p> 教育長です。 </p> <p> この老朽化対策検討委員会につきましては、教育委員会としては躯体だけに絞ってやって、ゆくゆく検討委員会の中で、統廃合についてのことをということではなかなか難しい部分があるのではないかと思います。これはこれとして、次にどうするのかという時に、新たな問題が出てくるということになると思います。 </p> <p> 実際に老朽化については、これからどうしようという時に、新築とか長寿命化ということが目にちらつくわけですが、実際に自分たちが思っていることは、これは躯体そのものというようなことで絞っていかないと、実は第一回の検討委員会の時にも、そういう問題も出ました。しかし、それを取り入れてしまうと、実際の老朽化についてのこと以外の部分が非常に大きくなるものですから、これは、まず、第一としては、躯体のものについて絞らせていただいて、そして、その後、診断をいただいて、それから次の統廃合に向けて、いよいよ歩を進めていかなければいけないのではないかと思います。 </p> <p> それとともに、教育委員会としては、地域論と教育論の二つがどの地域でもあるわけですが、まずは教育委員会としましては、子どもの教育施設は学校であるということで子どもの成長を一番にして考えていきたいと思っております。 </p>
<p>市長</p>	<p> ありがとうございます。まずは、議論が始まったということでございます。また、定例の教育委員会でも、よく内容を報告して、皆様方の意見をお聞きしながら、できるだけスムーズに、批判ではなく議論をしていただきたいと思います。それでは（３）校舎老朽化対策については以上とさせていただきます。 </p> <p> それでは、その他について議題に入らせていただきます。まず、事務局何かありますか。 </p> <p> （意見なし） </p> <p> 委員の皆様方、全体を通して何かありましたらお願いします。 </p>

	<p>(意見なし)</p> <p>それでは、長時間にわたって皆様ありがとうございました。コロナの対策はまだまだ気を付けていく日々が続きますので、皆様方にはご協力をいただきたいと思います。以上をもちまして、第1回総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
--	--